

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について（周南市）

1 調査の概要

（1）目 的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査期日

- 教科に関する調査（中学校英語以外） 令和8年4月23日（木）
- 中学校英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」・生徒質問調査
令和8年4月20日（月）～23日（木）
- 中学校英語「話すこと」
【当日実施校】 令和8年4月24日（金） 又は 27日（月）
【期間内実施校】 令和8年4月28日（火）～5月29日（金）
- 児童質問調査 令和8年4月24日（金）～5月 8日（金）

（3）調査の方法 悉皆調査

（4）調査を実施した校数・児童生徒数

学 年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	26校	児童 970人
中学校第3学年	13校	生徒 986人

（5）調査内容

- ① 教科に関する調査（小学校…国語、算数 中学校…国語、数学、英語）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - 児童生徒に対する調査 【小学校…73項目 中学校…80項目】
 - 学校に対する調査 【小学校…85項目 中学校…93項目】

参考データ

令和8年度 小学校（国語、算数）、中学校（国語、数学、英語）平均正答率（％）
中学校英語科）平均IRTスコア

	小 学 校		中 学 校		
	国語	算数	国語	数学	英語
全 国	60.9	56.4	57.0	63.9	49.9
山口県	62	57	57	64	49.5～ 50.4

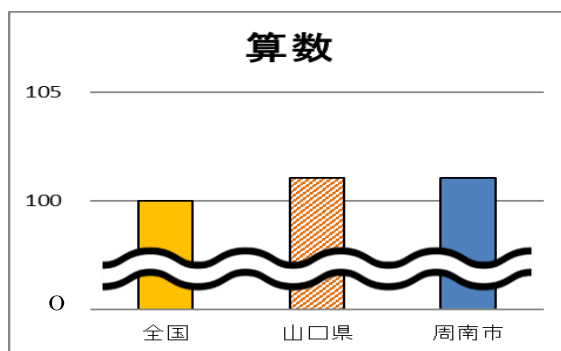
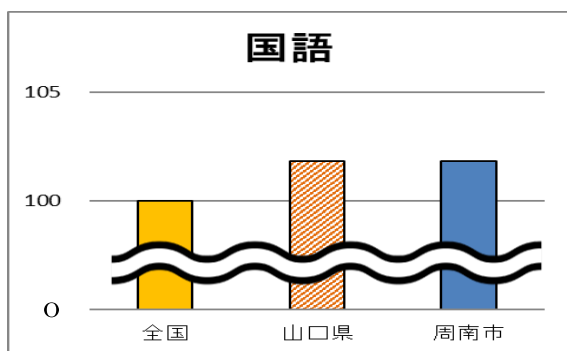
※中学校英語科はC B Tで実施し、I R T（項目反応理論）に基づき、500を基準に算出したI R Tスコアで結果を表示。I R Tスコアは、「聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと」の英語4技能を統合したもので、「話すこと」の当日実施校500校分のデータに基づいて全国値を算出。

2 結果の概要

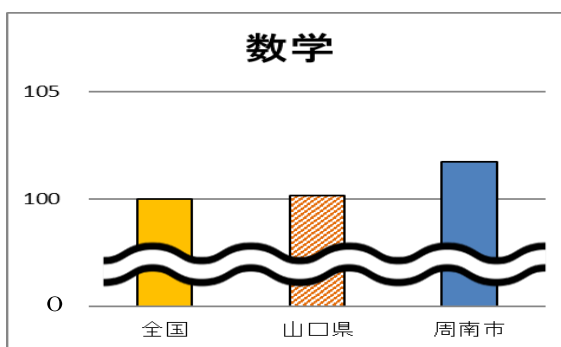
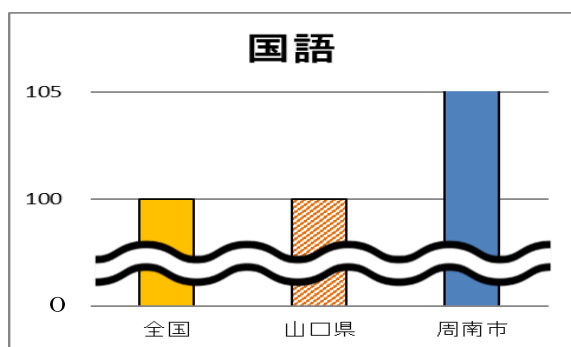
(1) 教科に関する結果（グラフ）

下のグラフは、令和8年度における全国平均正答率を100としたときの周南市と山口県の平均正答率の比を算出したものである。

<小学校>



<中学校>



※中学校英語科は、IRT調査のため、グラフ化から除く。

(2) 教科ごとの結果

※ 全国や県の平均正答率との比較について、次のように表現する。

- ・ 1 %未満の差 . . . 「同等」
- ・ 1 %以上 2 %未満の差 . . . 「やや」
- ・ 2 %以上 4 %未満の差 . . . 「かなり」
- ・ 4 %以上の差 「大きく」

① 小学校国語

平均正答率が全国平均をやや上回り、県平均と同等。

【成果が見られた点】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる〔問題番号 2 三ア〕(短答式、全国正答率 80.0 % 全国と同等)
- 話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる〔問題番号 3 一〕
(選択式、全国正答率 76.7 % 全国をやや上回る)
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる〔問題番号 3 三 (2)〕
(記述式、全国正答率 76.4 % 全国と同等)

【課題のある点】

- 引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる〔問題番号 2 四〕
(記述式、全国正答率 33.5 % 全国を大きく上回るが、正答率が高くない)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる〔問題番号 2 三イ〕
(短答式、全国正答率 45.2 % 全国をやや下回る)
- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる〔問題番号 2 二〕(選択式、全国正答率 48.9 % 全国をかなり下回る)

② 小学校算数

平均正答率が全国平均、県平均と同等

【成果が見られた点】

- 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる〔問題番号 3 (1)〕
(短答式、全国正答率 94.5 % 全国と同等)
- 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる〔問題番号 4 (2)〕
(短答式、全国正答率 78.1 % 全国と同等)
- 帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる〔問題番号 4 (4)〕
(選択式、全国正答率 74.9 % 全国と同等)

【課題のある点】

- 二次元の表から条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる
〔問題番号 4 (3)〕(短答式、全国正答率 17.9% 全国をやや下回る)
- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる〔問題番号 2 (4)〕
(選択式、全国正答率 34.2% 全国と同等)
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる
〔問題番号 2 (3)〕(選択式、全国正答率 36.1% 全国をやや下回る)

③ 中学校国語

平均正答率が全国平均、県平均をやや上回る。

【成果が見られた点】

- 表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる
〔問題番号 3 二〕(短答式、全国正答率 92.3% 全国をやや上回る)
- 助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる〔問題番号 1 一〕
(選択式、全国正答率 84.3% 全国をかなり上回る)
- 単語の活用について理解しているかどうかをみる
〔問題番号 1 三〕(選択式、全国正答率 85.4% 全国と同等)

【課題のある点】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる〔問題番号 4 四〕
(選択式、全国正答 38.9% 全国をやや下回る)
- 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる〔問題番号 4 二〕
(短答式、全国正答率 35.2% 全国をかなり上回るが、正答率は低い)
- 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる〔問題番号 3 一〕(短答式、全国正答率 39.8% 全国と同等)

④ 中学校数学

平均正答率が全国平均、県平均をかなり上回る。

【成果が見られた点】

- 具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる〔問題番号 1〕
(短答式、全国正答率 85.7% 全国をやや上回る)
- 箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる
〔問題番号 9 (2)〕
(選択式、全国正答率 75.8% 全国をかなり上回る)
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる〔問題番号 7 (1)〕
(短答式、全国正答率 75.2% 全国をかなり上回る)

【課題のある点】

- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる〔問題番号 9 (3)〕
(記述式、全国正答率 31.9% 全国を大きく上回るが、正答率は低い)
- 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる〔問題番号 7 (2)〕
(記述式、全国正答率 33.9% 全国をかなり上回るが、正答率は低い)
- 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる〔問題番号 8 (3)〕
(選択式、全国正答率 37.1% 全国をかなり上回るが、正答率は低い)

⑤ 中学校英語〔4 技能 (聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)〕

平均 I R T スコアが全国平均と同等

【成果が見られた点】

- 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる〔問題番号 2 (聞くこと)〕
(選択式、全国正答率 78.5% 全国をかなり上回る)
- 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる〔問題番号 3 (聞くこと)〕
(選択式、全国正答率 76.0% 全国をやや上回る)
- 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる〔問題番号 7 (読むこと)〕
(選択式、全国正答率 72.4% 全国と同等)

【課題のある点】

- 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる〔問題番号 19 (話すこと)〕
(口述式、全国正答率 25.8% 全国を大きく下回る)
- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる
〔問題番号 18 (話すこと)〕
(口述式、全国正答率 21.5% 全国をかなり上回るが、正答率は低い)
- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる〔問題番号 14 (書くこと)〕
(記述式、全国正答率 27.8% 全国をやや上回る)

(3) 生活習慣や学習習慣等に関する結果

※ 国や県、昨年度の市の回答率と比較して、0%以上2%未満の差は「同程度」と表現する。

① 児童に対する調査（小学校）

質問事項	グラフ	評価・分析
朝食を毎日食べていますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
自分には、よいところがあると思いますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
将来の夢や目標を持っていますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県より高い。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
人が困っているときは、進んで助けていますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国より高く、県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
人の役に立つ人間になりたいと思いますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国より高く、県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
学校に行くのは楽しいと思いますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合は、同程度。
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか		肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の児童の割合が低い。

質問事項	グラフ	評価・分析
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	全国、山口県、周南市の勉強時間に関するデータ。周南市は「3時間以上」の割合が最も高い。	「1時間以上」と回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、「1時間以上」と回答をした市内の児童の割合が低い。
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	全国、山口県、周南市の地域社会改善に関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国より高く、県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	全国、山口県、周南市のICT機器使用に関するデータ。周南市は「ほぼ毎日(1日複数回)」の割合が高い。	「週3回以上」と回答をした児童の割合は、国や県より低い。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、低い。
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	全国、山口県、周南市の課題解決に関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、高い。
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	全国、山口県、周南市の授業満足度に関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国より高く、県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	全国、山口県、周南市の学級活動に関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	全国、山口県、周南市の学習内容の振り返りに関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、同程度。
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	全国、山口県、周南市の道徳授業に関するデータ。周南市は「当てはまる」の割合が高い。	肯定的な回答をした児童の割合は、全国より高く、県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の児童の割合は、高い。

② 生徒に対する調査（中学校）

質問事項	グラフ	分析
朝食を毎日食べていますか	■している ▨どちらかといえばしている ■あまりしていない ■全くしていない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
自分には、よいところがあると思いますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国より低く、県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合が、低い。
将来の夢や目標を持っていますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
人が困っているときは、進んで助けていますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
学校に行くのは楽しいと思いますか	■当てはまる ▨どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合が低い。
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	■よくある ▨ときどきある ■あまりない ■全くない	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的回答をした市内の生徒の割合は、同程度。

質問事項	グラフ	分析
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	全国、山口県、周南市の勉強時間に関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は3時間以上、2時間以上、3時間より少ない、1時間以上、2時間より少ない、30分以上、1時間より少ない、30分より少ない、全くしない。	「2時間以上」と回答をした生徒の割合は、全国や県より低い。 昨年度と比べて、「2時間以上」と回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	全国、山口県、周南市の地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県とよりも高い。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	全国、山口県、周南市の1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例はほぼ毎日(1日複数回)、ほぼ毎日(1日1回くらい)、週3回以上。	「週3回以上」と回答をした生徒の割合は、全国より高く、県と同程度。 昨年度と比べて、「週3回以上」と回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	全国、山口県、周南市の1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	全国、山口県、周南市の1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国より高く、県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	全国、山口県、周南市の学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、学級の友達との間で話し合う活動を行っていない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	全国、山口県、周南市の学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県と同程度。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、高い7。
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	全国、山口県、周南市の道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますかに関するデータ。横軸は0%から100%。縦軸は全国、山口県、周南市。凡例は当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない。	肯定的な回答をした生徒の割合は、全国や県より高い。 昨年度と比べて、肯定的な回答をした市内の生徒の割合は、同程度。

③ 学校に対する調査

下に示した調査項目は、周南市内の小・中学校の学校質問紙への回答について、全国と比較して、望ましい傾向にある項目を○で、やや課題の見られる項目を●で示したものである。（学校の教育活動全般についての前年度までの取組等について回答）

児童生徒の状況

- 調査対象の学年の児童（生徒）は、礼儀正しいと思いますか

学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

- 調査対象の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
- 児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
- 学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか
- 教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか
- 調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学級活動の充実

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか
- 調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか

ICTを活用した学習状況

- ICT 機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

特別な配慮が必要な児童への指導

- 学校では、調査対象学年の児童（生徒）のうち、発達障害を含む障害のある児童（生徒）に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（１）人的支援の配慮
- 学校では、調査対象学年の児童（生徒）のうち、発達障害を含む障害のある児童（生徒）に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（２）情報の取得、利用及び意思疎通への配慮
- 学校では、調査対象学年の児童（生徒）のうち、発達障害を含む障害のある児童（生徒）に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（３）ルール・慣行の柔軟な変更（学習内容に関わるものを除く）
- 学校では、調査対象学年の児童（生徒）のうち、発達障害を含む障害のある児童（生徒）に対する授業の中で、合理的配慮の提供として、個々の障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じて、本人や保護者の意向を踏まえ、次のことをどの程度行いましたか。（４）学習内容の柔軟な変更や調整

小学校教育と中学校教育の連携

- 前年度までに、近隣等の中（小）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか

家庭や地域との連携等

- コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童（生徒）が意見を表明することが出来る取組を行いましたか
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献していたと思いますか

家庭学習

- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか
- 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、児童（生徒）が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かしましたか

調査結果の活用

- 令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

3 学力向上に向けた今後の取組

※今回の調査結果を踏まえ、特に重点的に取り組む内容について記載

① 授業力向上・授業改善に向けた取組の推進

◆「児童生徒を主語にした授業づくりのスタートライン」を活用した授業改善

- ・ 本市独自に作成し、継続して修正・改善を加えている「児童生徒を主語にした授業づくりのスタートライン」の更なる周知徹底を図り、「身に付けさせたい資質・能力を1時間の授業だけではなく、まとまりのある単元等で考えること」と、「子どもの言葉で『引き出したい振り返り』を想定すること」の2点を中心に授業改善を推進する。単元で授業を構想する際には、今回の結果から表出した課題を解決するため、「概念的な理解の定着」と「アウトプットする活動の充実」を重視した授業づくりを進める。
- ・ 教員の主体的な研修の場として、「わくわく授業ラボ」を定期的に開催し、授業力向上・授業改善を図る。
- ・ 周南市教育委員会や山口県教育庁義務教育課による学校訪問の機会を効果的に活用し、各校の学力向上に向けた取組について、指導助言を行う。

② 学校の組織力の向上及び学校間の連携の強化

◆学力調査の結果等を活用した課題把握と解決に向けた組織的な手立ての確立

- ・ 児童・生徒の学習・生活状況や学力調査等の誤答分析から課題を把握し、各学校の実態にあった「学力向上プラン」を作成し、組織的な検証改善サイクルの確立を推進する。
- ・ 各小中学校における関係者を招集した、学力向上担当者会議を開催し、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく本市の傾向や課題を周知する。また、各校が進めている学力向上に向けた取組について、情報を共有したり協議したりすることで、各校の学力向上に向けた取組の活性化を図る。
- ・ 学校がもつ教育力を更に高めるために、周南市教育研究センター主催の若手教員の研修会等を通して、教師の指導力向上、授業改善の支援に努める。